

安全計画書（工事計画書）				3. 基本的な施工計画		
1. 工事計画概要				(1) 工事施工手順の概要（概念図）		
(1) 工事名称	① ショッピングモール印西（2階〇〇ストア） 区画変更に伴う大規模改修工事			1. 2階〇〇ストアと〇〇店の間仕切り壁を撤去 2. 〇〇ストアを拡張し間仕切り壁を再度構築 3. 南側昇降機（EV）老朽化に伴う更新工事 ※別添〇〇参照		
(2) 工事場所	② 〇〇市〇〇1-2					
(3) 工事種別	③ 改修及び移設					
(4) 建物概要 ④	イ. 用途	16 項イ	ロ. 構造			耐火構造（鉄骨造）
	ハ. 高さ	・ 軒の高さ 〇〇m ・ 最高の高さ 〇〇m				
	ニ. 階数	地上 〇階 ・ 地下 〇階 ・ 塔屋 〇階				
	ホ. 建築面積	〇〇〇〇. 〇〇㎡	ヘ. 延べ面積	〇〇〇〇. 〇〇㎡		
(5) 昇降機・建築設備又は工作物の概要	⑤ 南側昇降機（EV）1台 一時使用停止			(2) 工事区画の位置及び構造	別添図面に（工事区画の位置は赤線で）表示	
2. 仮使用承認申請部分				(3) 工事工程	別添工事工程表に表示	
(1) 仮使用部分	別紙図面に黄緑色で表示			(4) 工事用資材等の搬出及びその管理方法		
(2) 用途	15 項 事務所	(3) 申請面積	概ね 〇〇㎡			
(注意)				工事資機材は、初日及び最終日に〇〇エリアに搬入する。 工事関係者以外の立入を禁止し、仮囲いを設置する。		

4. 工事により機能の確保に支障を生じる避難施設等、その他の安全施設及びその代替措置等

	種 類	箇 所	工事期間及び時間	代替措置の概要	管 理 の 方 法
⑧ (1) 避難施設等	イ. 廊下その他の通路	2階〇〇ストアから南口階段まで、通行止め	令和〇年〇月〇日～ 令和〇年〇月〇日	〇〇ストア前と北口階段に誘導標識を設置し避難経路を変更	代替え避難経路を施設関係者含め共有する。
	ロ. 直通階段等	南口階段	令和〇年〇月〇日～ 令和〇年〇月〇日	同上	同上
	ハ. 地下道等				
	ニ. スプリンクラー設備等	2階〇〇ストア	令和〇年〇月〇日～ 令和〇年〇月〇日	〇〇ストア、スプリンクラー未警戒部分に消火器を設置	消火器の位置を周知させ、初期消火に努める。
	ホ. 排煙設備等				
	ヘ. 非常用の照明設備				
	ト. 非常用の昇降機				
	チ. 防火区画	2階〇〇ストア	令和〇年〇月〇日～ 令和〇年〇月〇日		工事区画内の整理整頓、 工事関係者以外の出入りを禁止する。
⑨ (2) その他の安全施設等	イ. 消防用設備等 ((1) に含まれるものを除く)	2階〇〇ストア 自動火災報知設備停止	令和〇年〇月〇日～ 令和〇年〇月〇日	1時間ごとの巡回	未警戒部分に拡声器を設置し、災害時に使用し避難誘導する。工事終了後は直ちに復旧させる。
	ロ. 非常用の進入口				
	ハ. その他				

5. 出火危険防止（火災発生の恐れのあるものに限る。）			
	種 類	集積又は設置方法	管 理 の 方 法
⑩	(1) 火気使用 ガス切断機 溶接機	○台 2階屋内仮囲い内	使用時は、防火養生シート上で使用し消火器を隣接させる。 安全管理者の監視下にて作業を行う。
⑪	イ. 危険物 塗料：仕上げ材に使用 燃料（ガソリン）：発電機用	○○ℓ 屋外集積所 ○○ℓ 屋外集積材	屋外では直射日光が当たらないように保管し、関係者以外の 立入ができないよう囲いを作る。 消火器を常設させておく。 工事終了後は、全て持ち帰る。
	ロ. 可燃性工事用資材 合板 木材	○枚 屋外集積所	屋外に、火気から遠ざけた集積所を作り、警備員1名を配備 する。
⑫	(3) 機械器具 グラインダー	○台 2階屋内仮囲い内	使用時は、不燃シート上で使用し、水バケツを隣接させてお く。

6. 防火管理体制					
13	(1) 火災予防対策	イ. 工事部分の対策及び組織	<p>火気使用時は、消火器を設置し安全管理者を付ける。 定期的に巡回を行う。 作業終了後は、点検し火災防止に務める。 喫煙は屋外の指定場所で行う。</p>	(2) 災害発生時の対策及び自衛消防組織	<p>災害発生時は、直ちに消防機関へ連絡し、別添1「自衛消防組織表」に伴い行動する。 緊急連絡先は別添2に示す。</p>
	ロ. 使用部分の対策及び組織	<p>就業前に、避難経路を確認する。 整理整頓に努める。 防火管理者は緊急連絡をできる体制にいる。</p>			
14	(3) 使用部分と工事部分の相互の連絡体制	<p>作業開始前に、防火対策を確認し情報を共有する。 相互の緊急連絡先をわかりやすい場所に掲示し、常に連絡をとれる体制を作る。 火気を使用する場合は、時間、場所等を使用者と工事者に周知させる。 災害発生時は、放送設備又は拡声器を設置し早期の伝達を行う。</p>			
15	(4) 教育・訓練の実施状況	<p>週に1度、訓練にて避難経路、消火設備（代替え含む）の位置を確認する。 全ての従業員で自衛消防組織と連絡網を確認する。</p> <p>毎朝、朝礼で当日の工事内容とそれに伴う注意喚起を周知する。 例、「本日〇時から〇〇時の間、自動火災報知設備およびスプリンクラーが停止しますので、災害時は訓練通りの行動をお願いします。」など</p>			

【記入要領】

①	<p>工事の名称を記入してください。</p> <p>同一敷地内に複数の防火対象物がある場合は、建物の名称をテナント工事の場合は、名称の後に「(階数とテナント名)」も記入してください。</p>
②	①の住所を記入してください。
③	改築、増築、移設等の工事種別を記入してください。
④	<p>防火対象物の概要について記入してください。</p> <p>イ. 消防法施行令別表第一に掲げる用途を記入してください。</p> <p>ロ. 建物構造を記入してください。</p> <p>ハ. 軒及び建物最高の高さを記入してください。</p> <p>二. 階数を記入してください。</p> <p>ホ・ヘ. 建築面積及び延べ面積を少数第2まで記入してください。</p>
⑤	工事期間中に、昇降機、建築設備(防火区画・空調設備等)、工作物の使用形態が変わるものを記入してください。
⑥	<p>特定行政庁等から仮使用申請の認定を受け、仮使用する部分の概要を記入してください。</p> <p>(1) 平面図等に仮使用範囲を緑黄色で記入して添付してください。</p> <p>(2) 仮使用する部分の消防法施行令別表第一に掲げる用途を記入してください。</p> <p>(3) 仮使用する延べ面積を記入してください</p> <p>(注意) 仮使用する際に注意事項や条件を受けている場合記入して下さい。</p>
⑦	<p>工事の施工計画を記入してください。</p> <p>(1) 工事の施工手順や方法を記入してください。概念図があれば添付してください。</p> <p>(2) 別添図面にて表示してください。</p> <p>(3) 工事の工程表を添付してください。</p> <p>(4) 工事用資材の管理方法(搬出・保管場所等)を記入してください。</p>
⑧	工事に伴い、イ～チの項目に支障が生じる内容及びその代替え措置を記入してください。
⑨	工事に伴い、イ～ハの項目に支障が生じる内容及びその代替え措置を記入してください。
⑩	工事に使用する、火気が生じる資機材等の種類、保管場所及び管理方法を記入してください。
⑪	工事に使用する、危険物、可燃性工事用資材の種類、使用用途、保管場所及び管理方法を記入してください。
⑫	⑩⑪以外で、火気の発生する機械器具を使用する場合、記入してください。
⑬	<p>工事期間中の防火管理体制について記入してください。(別添作成でも可)</p> <p>(1) 火災予防対策</p> <p>イ. 工事部分における対策及び組織体制を記入してください。</p> <p>ロ. 通常使用部分(仮使用含む)における対策及び組織体制を記入してください。</p> <p>(2) 災害発生時の対応及び連絡体制を記入してください。</p> <p>※災害発生時の緊急連絡先及び消防機関への連絡体制を記入してください。</p> <p>また、自衛消防組織表があれば添付してください。</p>
⑭	通常使用(仮使用含む)又は工事部分で災害が起こった際の相互の連絡体制を記入してください。
⑮	工事関係者及び施設にて通常業務する職員に対しての、防火防災訓練及び注意喚起の内容を記入してください。
その他 注意事項	<p>※各項目、別添にて提出する場合その旨を記入してください。例、※別添1図参照</p> <p>※各設備の代替え措置及び避難経路の変更があれば敷地図又は平面図に記入し添付してください。</p> <p>※危険物及び資機材等の使用、保管場所を敷地図又は平面図に記入し添付してください。</p> <p>※該当なしの場合、空欄で結構です。</p>